

1. 件名：大型廃棄物保管庫の耐震評価の考え方についての面談
2. 日時：令和4年8月31日（水）10時00分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
新井安全審査官、高木係長
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
地震・津波審査部門
江寄企画調査官、三浦主任安全審査官、千明主任安全審査官
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
本社 担当1名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当20名（うちテレビ会議システムによる出席17名）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、令和3年9月8日の第30回原子力規制委員会資料を踏まえて、現在耐震評価及び設計を見直し中の大型廃棄物保管庫について、以下のとおり説明があった。
 - 大型廃棄物保管庫の耐震評価の考え方について
 - ✓ 大型廃棄物保管庫の耐震評価の考え方について
 - ✓ 堰について
 - ✓ 非常用ベント口について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。
 - 機動的対応について、通常時における巡視頻度、必要な資機材の配置、アクセス経路の設定等の詳細を具体的に説明すること。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. その他

資料：大型廃棄物保管庫に係る実施計画の変更について（大型廃棄物保管庫の耐震評価）

以上